

ID No.	1002
研究課題名	難治がんに対する複合的がんワクチン療法と個別化医療の開発研究
研究代表者	小笠原 一誠 (滋賀医科大学・理事)
研究組織 受入教員 研究分担者	釣田 義一郎 (東京大学医科学研究所・講師) 醍醐 弥太郎 (滋賀医科大学・教授) 藤山 佳秀 (滋賀医科大学・名誉教授) 寺本 晃治 (滋賀医科大学・特任講師) Phung Manh Thang (滋賀医科大学・客員助教) 中村 正子 (滋賀医科大学・大学院生) 高野 淳 (東京大学医科学研究所・特任講師) 湯地 晃一郎 (東京大学医科学研究所・特任准教授) 安井 寛 (東京大学医科学研究所・特任准教授)
研究報告 (1) 難治がんの分子病態の解明とがんペプチドワクチン併用療法の開発 複数の難治固形がんを高頻度・高レベルに発現する oncoantigen を同定してその臨床応用に向けた機能解析を実施した。これらの研究成果の一部については、第 75 回日本癌学会総会(7 題)、第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会(4 題)、2016 米国癌学会(AACR: 3 題)、2017 世界肺癌会議(IASLC: 1 題)、第 61 回日本人類遺伝学会大会・ICHG2016(2 題)で発表した。また複数の oncoantigen(CDCA1 等)や免疫チェックポイント分子につき、発がん機構に関する詳細な機能解析やバイオマーカーとしての検証、がんワクチン療法の適応がん種拡大に向けた検討を行い国際雑誌に論文発表した。 (2) 臨床試験の実施と安全性・免疫学的反応の検証 肺がん患者を対象とする臨床試験を滋賀医科大学において実施した。	